

クラウン モデリスタ バージョン

フロントスポイラー 取付要領書

品番 MSD41-30001-XX
品番 MSD41-30002-NP

設定型式: AZSH35/TZSH35

設定グレード: 全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付いたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
- 商品の仮合せ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施下さい。
- フロントスポイラーを取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず一方向に拭いて脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。(PACプライマーN-200とK-500を本品に添付)
- Ⓢ プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- Ⓢ 両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に白色塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂をきちんと行なって下さい。
- Ⓢ 両面テープの圧着を十分に行なって下さい。49N(5kgf)以上
- Ⓢ フロントスポイラー固定用のビス類の本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

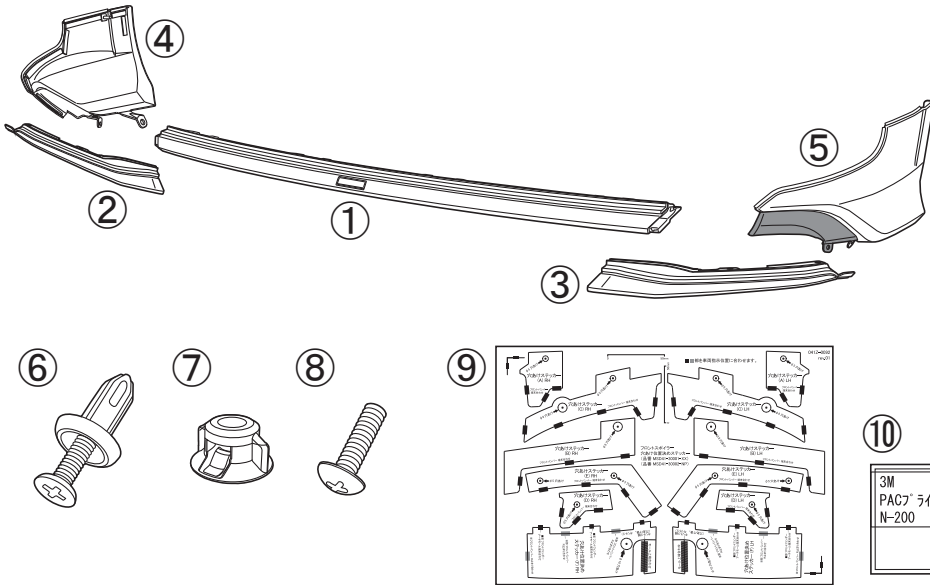
取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生するおそれがあります。)



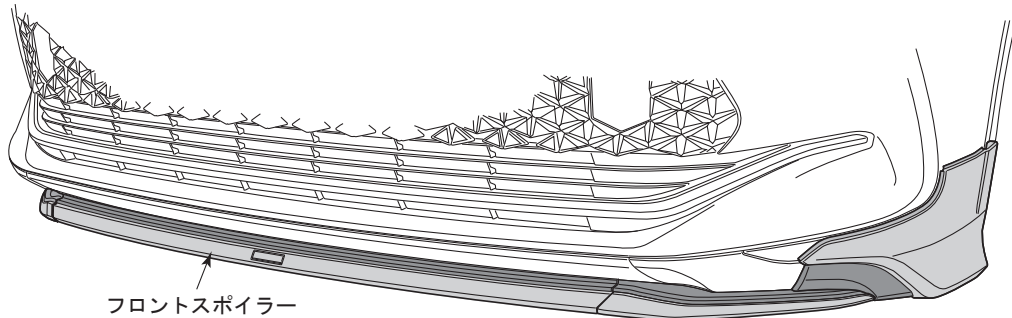
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー-CTR	1
②	フロントスポイラー-CTR RH	1
③	フロントスポイラー-CTR LH	1
④	フロントスポイラー-SIDE RH	1
⑤	フロントスポイラー-SIDE LH	1
⑥	スクリベット	10
⑦	クリップナット	6
⑧	トラスクリューM6×18	4
⑨	穴あけ位置決めステッカー	1
⑩	PACプライマー-N-200	1
⑪	PACプライマー-K-500	1

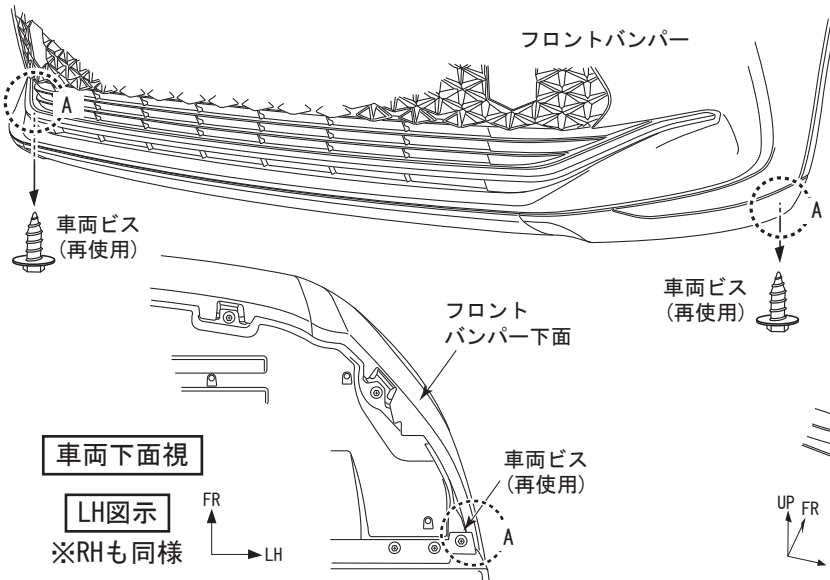
取り付け概要



※本取付要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。
※カラードフェンダー (品番: MSD15-30001/2) と同時装着の場合、カラードフェンダーを先に取り付けて下さい。

取り付け手順

(1) 取り付け準備



1. フロントバンパー下面の左図A部の車両ビスを取り外す。(左右各1カ所 計2カ所)

アドバイス
・取り外した車両ビスは再使用しますので紛失しない様ご注意ください。

A部車両下面視

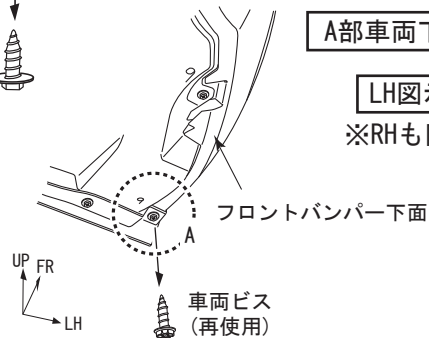
LH図示

※RHも同様

車両下面視

LH図示

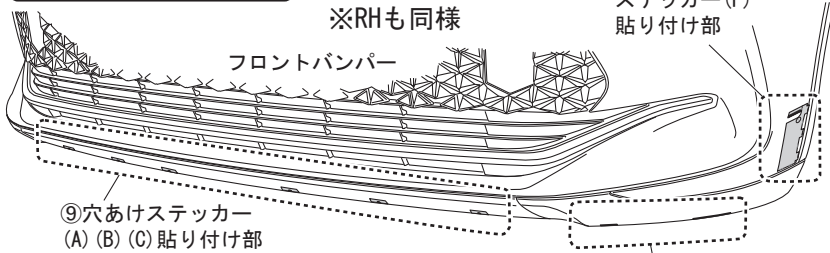
※RHも同様



(2) 取り付け準備

LH図示

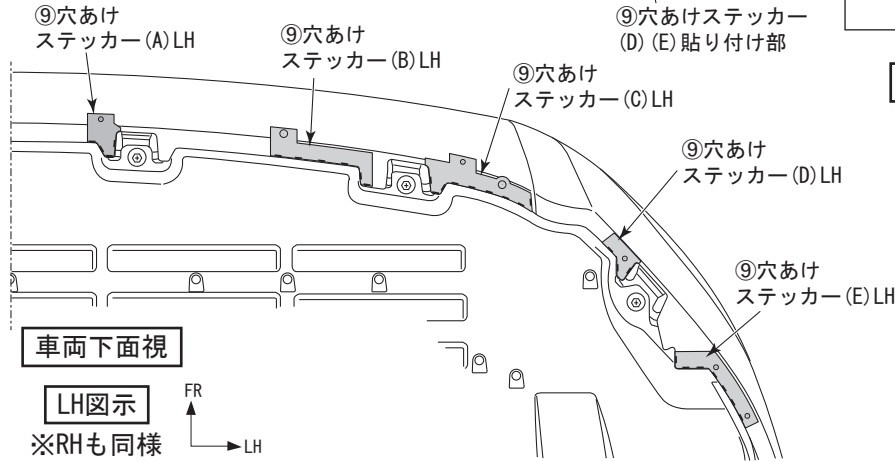
※RHも同様



- ⑨穴あけ位置決めステッカーからステッカー(A)～(F)を剥がし、記載の要領でフロントバンパー図示部に貼り付ける。

アドバイス

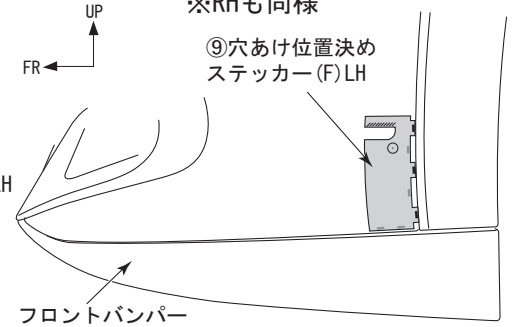
- ⑨穴あけ位置決めステッカー(F)貼り付け時、カラードフェンダー装着車の場合も同様に作業を行なって下さい。



車両側面視

LH図示

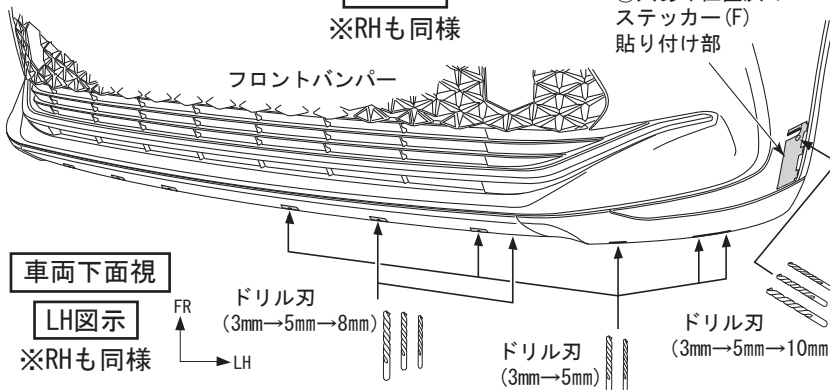
※RHも同様



(3) 取り付け準備

LH図示

※RHも同様



- ⑨穴あけステッカー(A)～(E)に型抜きされている小さい穴を狙い、ドリルで穴をあける。
(ドリルφ3mm→φ5mm)
(左右各5カ所 計10カ所)
(ドリルφ3mm→φ5mm→φ8mm)
(左右各2カ所 計4カ所)
- ⑨穴あけ位置決めステッカー(F)LHに型抜きされている小さい穴を狙い、ドリルで穴をあける。
(ドリルφ3mm→φ5mm→φ10mm)
(左右各1カ所 計2カ所)

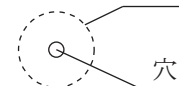
重要

- ドリル刃は、正しいサイズを使用し、加工面に対して垂直に穴あけして下さい。

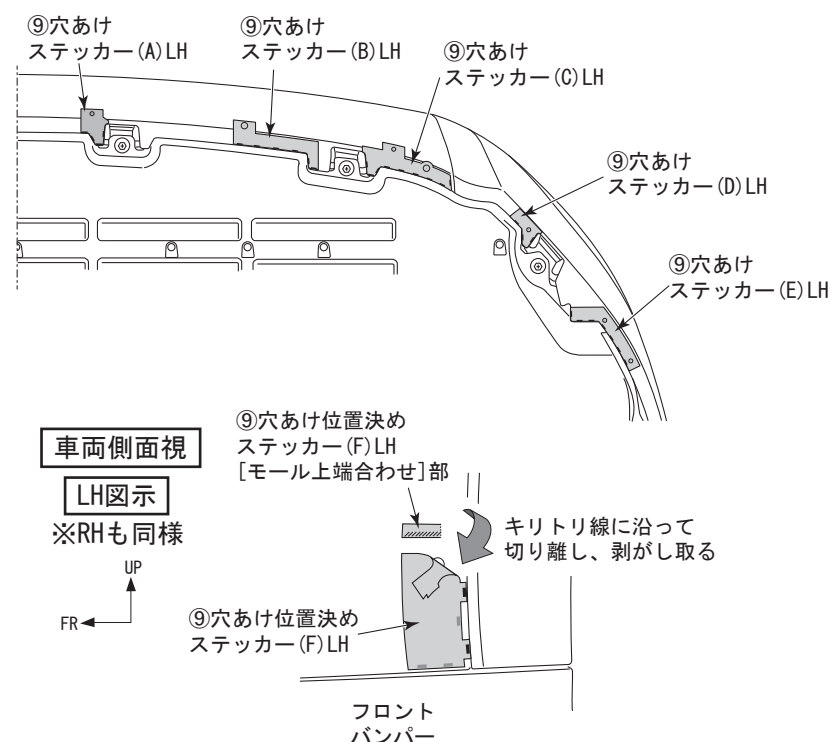
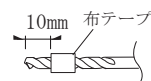
アドバイス

- 作業時は保護メガネを着用して作業を行なって下さい。
- 型抜きされている穴中心を狙って穴あけをして下さい。

(参考穴径)

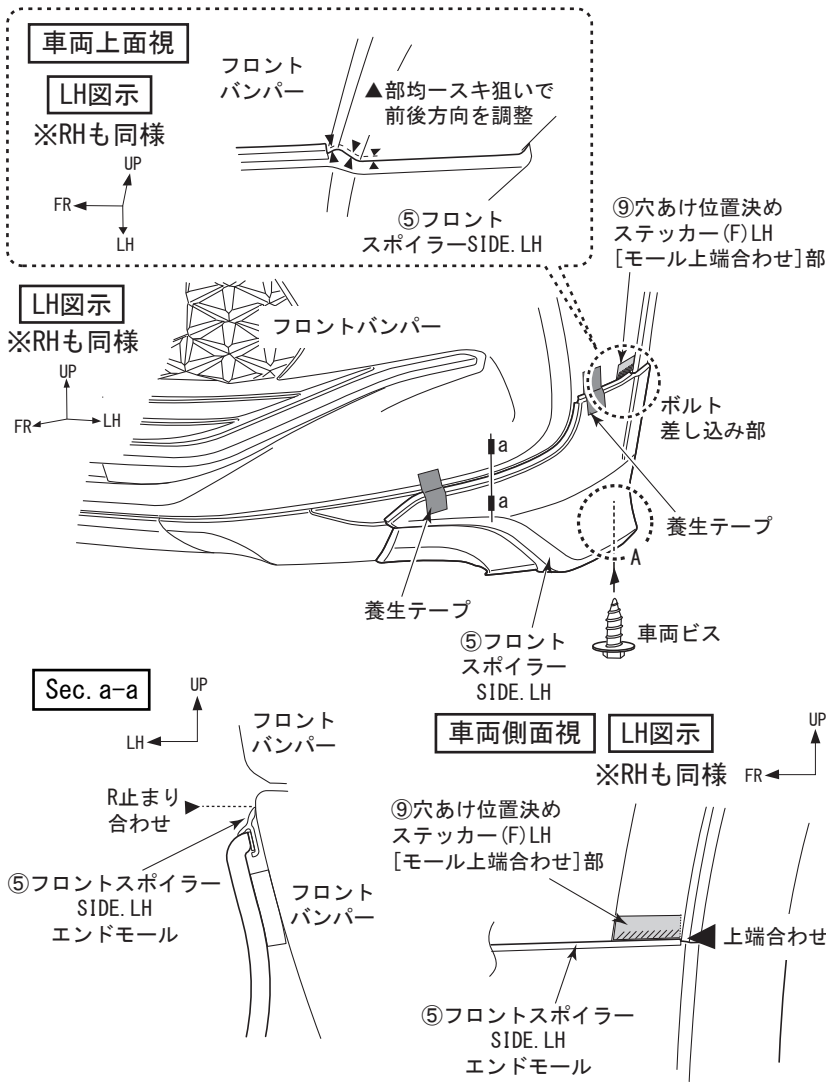


- 突き抜け防止の為、ドリル先端から10mmのところ布テープを巻き付けて下さい。



- ⑨穴あけ位置決めステッカー(F)LH記載のキリトリ線に沿って切り離し、『**モール上端合わせ**』部を残して剥がす。
- ⑨穴あけステッカー(A)～(E)LHを剥がす。
- 穴周りに出来たバリを取り、仕上げる。
(左右各8カ所 計16カ所)

(4) 取り付け準備

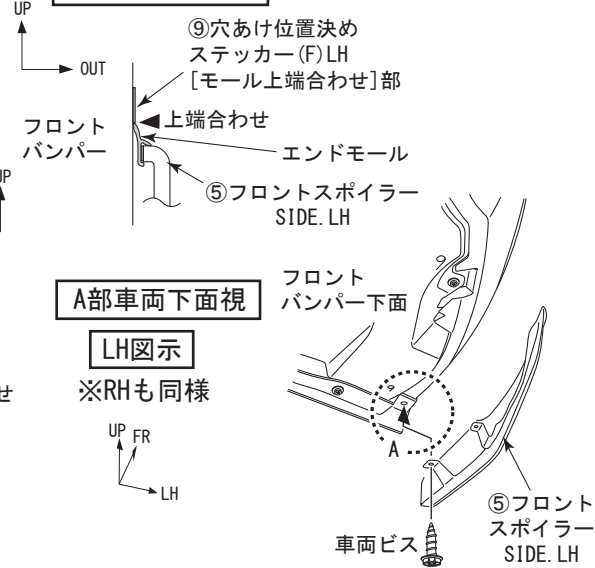


- ⑤フロントスポイラーSIDE. LHのボルト部をフロントバンパー側面の穴へ差し込み、フロントバンパー側面の⑨穴あけ位置決めステッカー(F)LH[モール上端合わせ]に⑤フロントスポイラーSIDE. LHのエンドモール上端を合わせて養生テープで仮固定する。
- 下面を車両ビスで仮固定する。

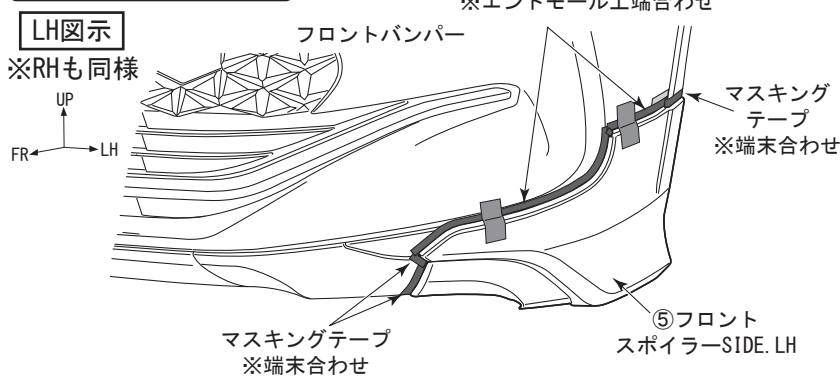
アドバイス

- ⑤フロントスポイラーSIDE. LHをあてがう際、スクエアボルトで車両へキズを付けない様に注意して下さい。

合わせ部断面図

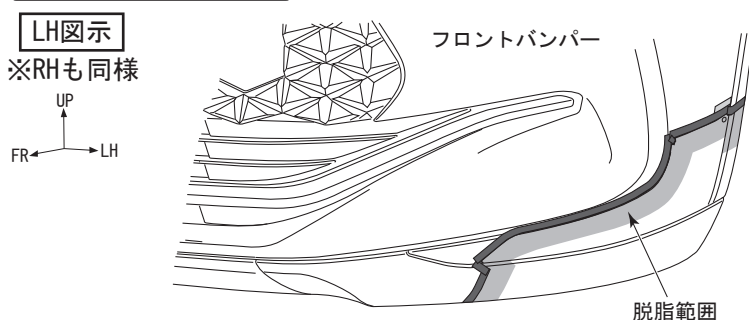


(5) 取り付け準備



- プライマー塗布の為に、⑤フロントスポイラーSIDE. LHに貼り付けてあるエンドモール上端及び図示端末に合わせてマスキングテープでマスキングする。
- 一旦⑤フロントスポイラーSIDE. LHを取り外す。

(6) 取り付け準備



- 左図 ■部を一方方向に清掃・脱脂する。

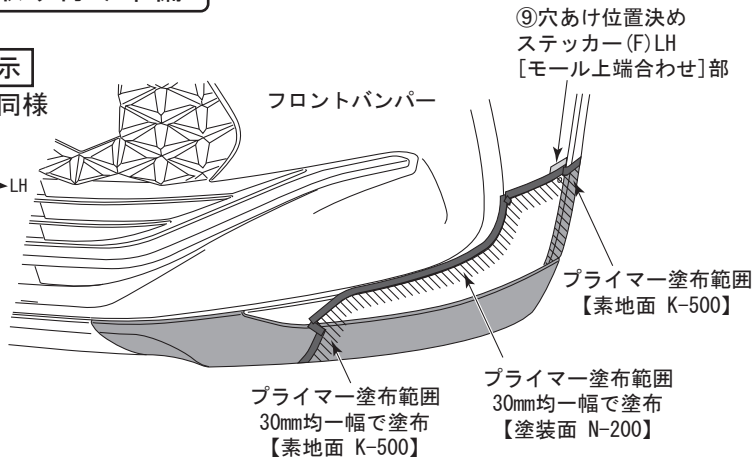
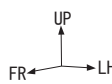
アドバイス

- 脱脂作業要領書をあわせて確認して下さい。

(7) 取り付け準備

LH図示

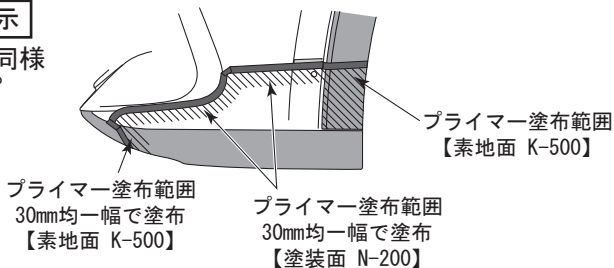
※RHも同様



車両側面視

LH図示

※RHも同様



1. 両面テープ貼り付け部(左図斜線部内側30mm幅)に⑩PACプライマーN-200、⑪PACプライマーK-500を塗布する。

重要

- ・PACプライマーは必ず塗布部位により使い分けてください。

塗装面 : N-200
素地面 : K-500

アドバイス

- ・PACプライマーは特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするかはみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)で拭き取って下さい。
- ・PACプライマー塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

2. 塗布後、マスキングテープを剥がして下さい。

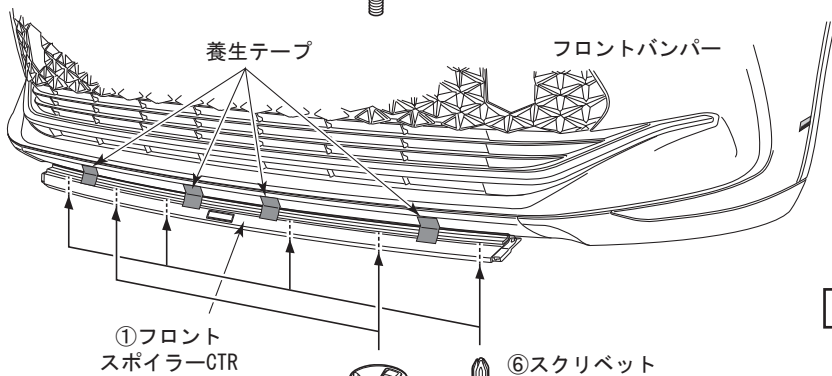
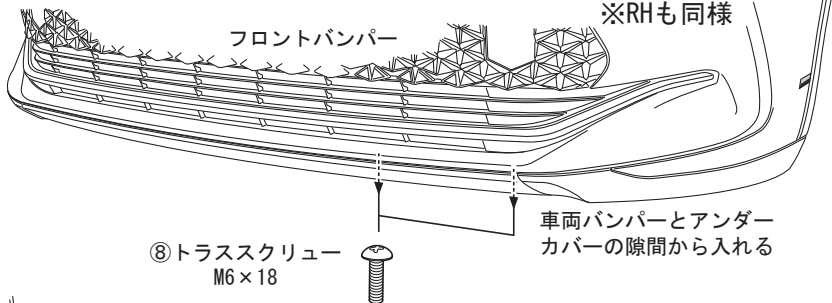
アドバイス

- ・マスキングテープを剥がす際、フロントバンパー側面の⑨穴あけ位置決めステッカー(F)LH[モール上端合わせ]部を剥がさないで下さい。

(8) 取り付け

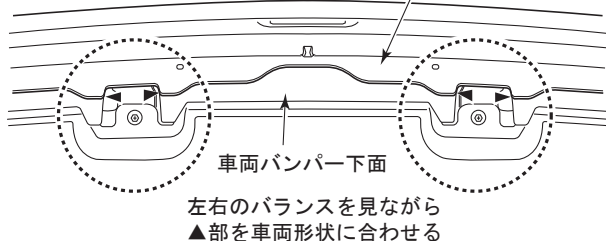
LH図示

※RHも同様



車両下面視

LH図示



1. ⑧トラススクリューM6×18を車両バンパー下面のφ8穴に裏側から差し込む。(左右各2カ所 計4カ所)
2. ①フロントスポイラーCTRを車両バンパー下面の形状に合わせてあてがい、養生テープと⑥スクリベットで固定する。(左右各2カ所 計4カ所)

アドバイス

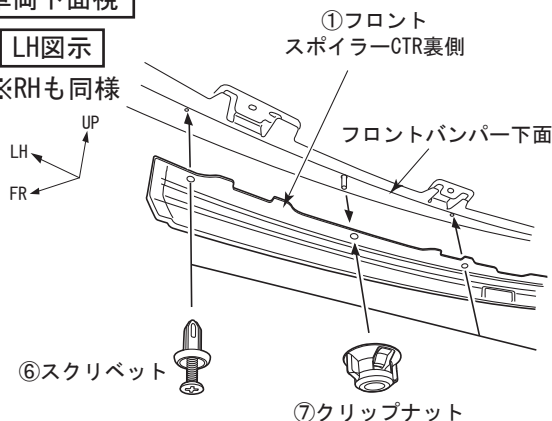
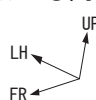
- ・⑥スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーを使用してねじ込んで下さい。

3. ⑧トラススクリューM6×18部を①フロントスポイラーCTR裏側から⑦クリップナットで仮締めする。(左右各1カ所 計2カ所)

車両下面視

LH図示

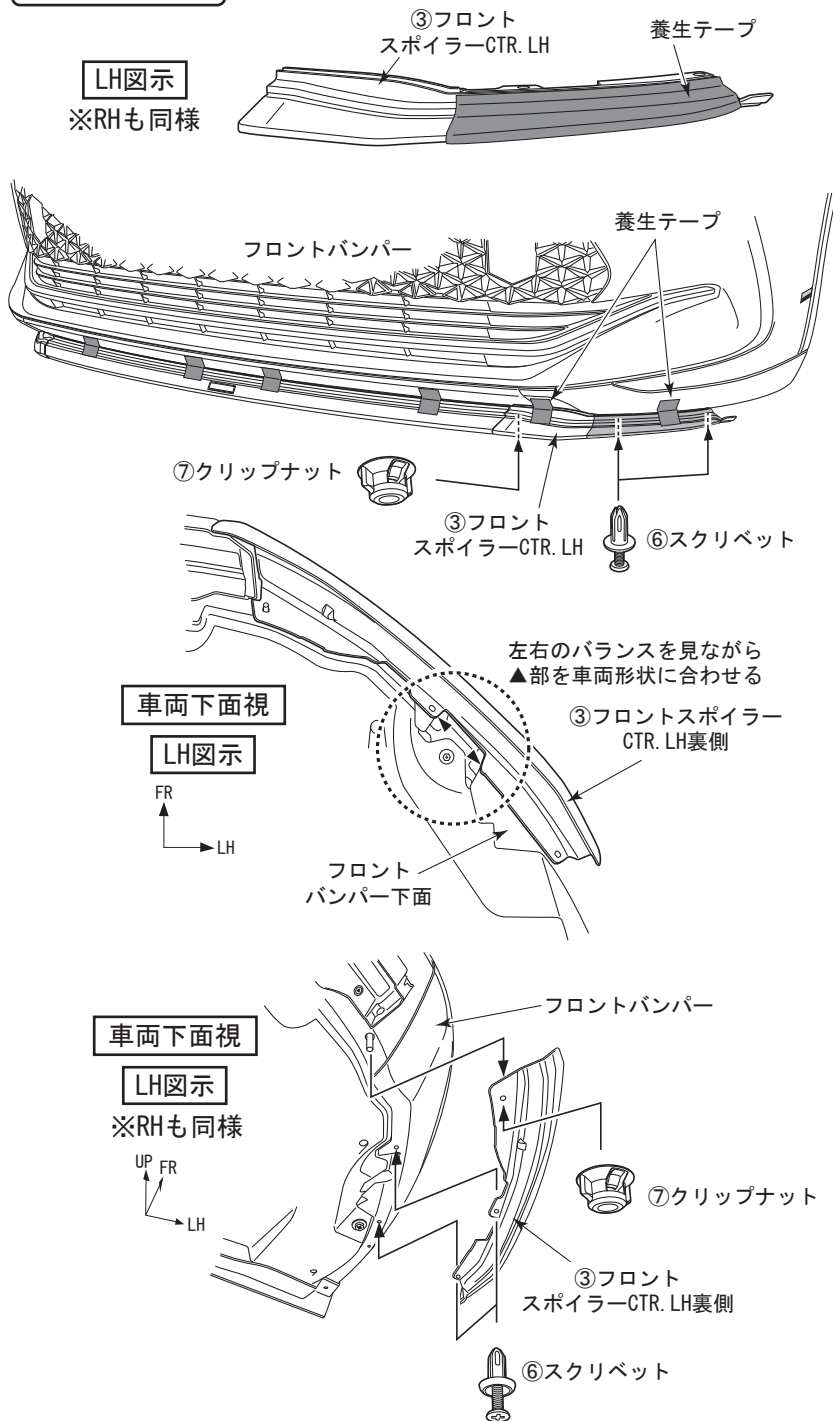
※RHも同様



(9) 取り付け

LH図示

※RHも同様



- ③フロントスポイラーCTR. LHの図示上面部をキズ付き防止の為、養生する。
- ③フロントスポイラーCTR. LHをフロントバンパー下面の形状に合わせてあてがい、養生テープと⑥スクリベットで固定する。
(左右各2カ所 計4カ所)

👉 アドバイス

- ⑥スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーを使用してねじ込んで下さい。

⚠️ 重要

- プライマー塗布部位に養生テープを貼り付けない様に注意して下さい。
- ⑧トラススクリューM6×18部を①フロントスポイラーCTR裏側から⑦クリップナットで仮締めする。
(左右各1カ所 計2カ所)

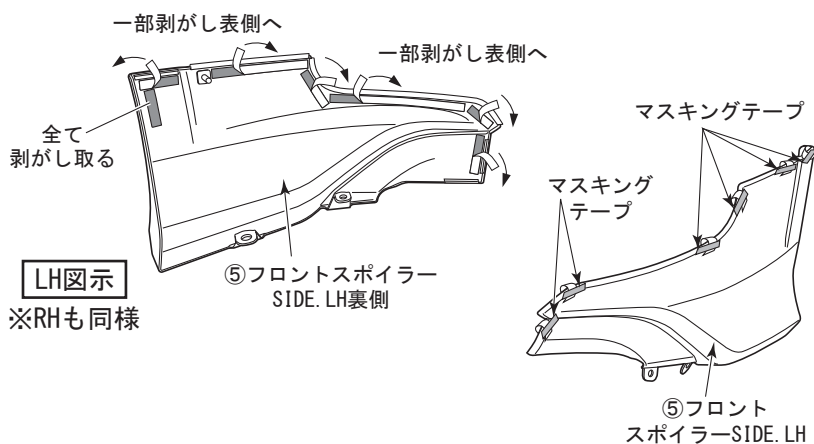
👉 アドバイス

- ⑦クリップナットで仮締めする際、①フロントスポイラーCTRと③フロントスポイラーCTR. LHの間に、隙間や段差が生じていないことを確認して下さい。

(10) 取り付け

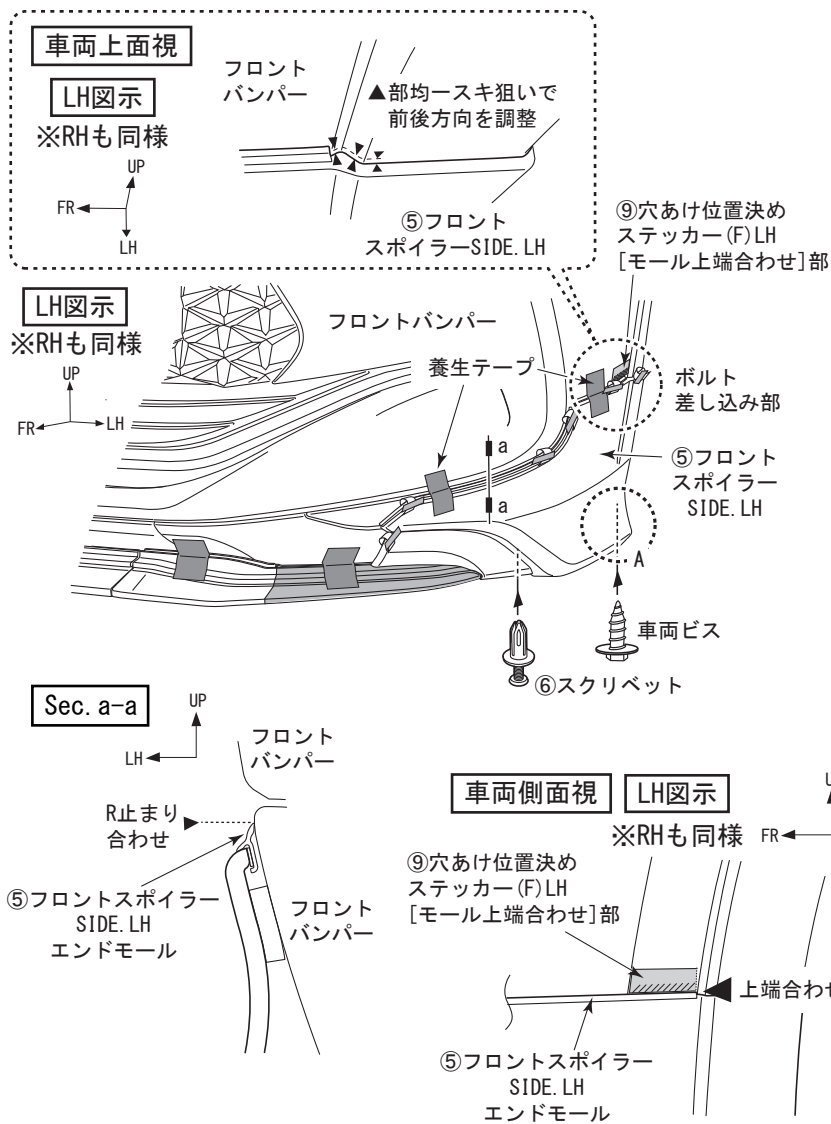
LH図示

※RHも同様



- ①フロントスポイラー裏側の両面テープ離型紙を一部又は全て剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。
(左右各7カ所 計14カ所)

(11) 取り付け

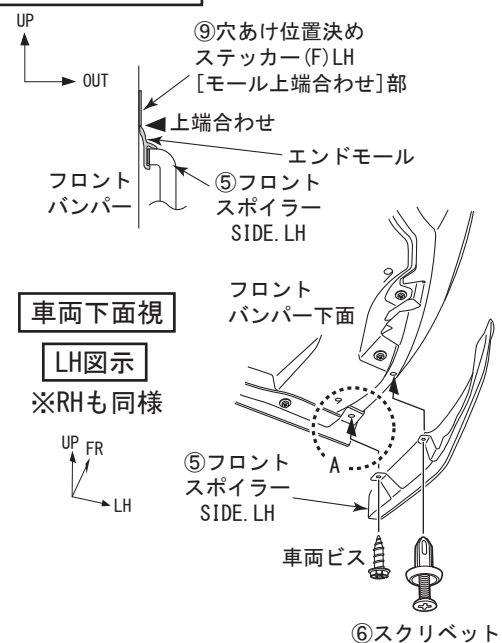


- ⑤フロントスポイラーSIDE. LHのボルト部をフロントバンパー側面の穴へ差し込み、フロントバンパー側面の⑨穴あけ位置決めステッカー(F)LH[モール上端合わせ]に⑤フロントスポイラーSIDE. LHのエンドモール上端を合わせて養生テープで仮固定する。
- 下面を車両ビスで仮固定する。
(左右各1カ所 計2カ所)
- 下面を⑥スクリベットで固定する。
(左右各1カ所 計2カ所)

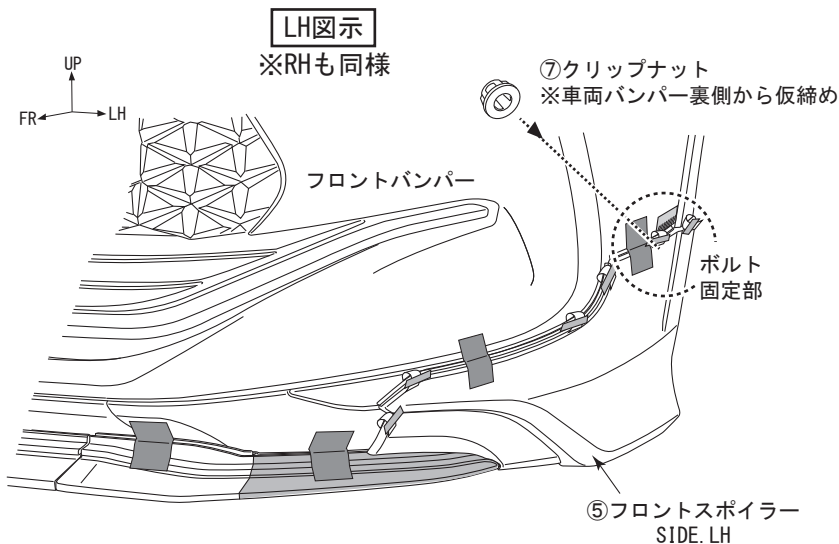
アドバイス

- ⑤フロントスポイラーSIDE. LHをあてがう際、スクエアボルトで車両へキズを付けない様に注意して下さい。

合わせ部断面図



(12) 取り付け



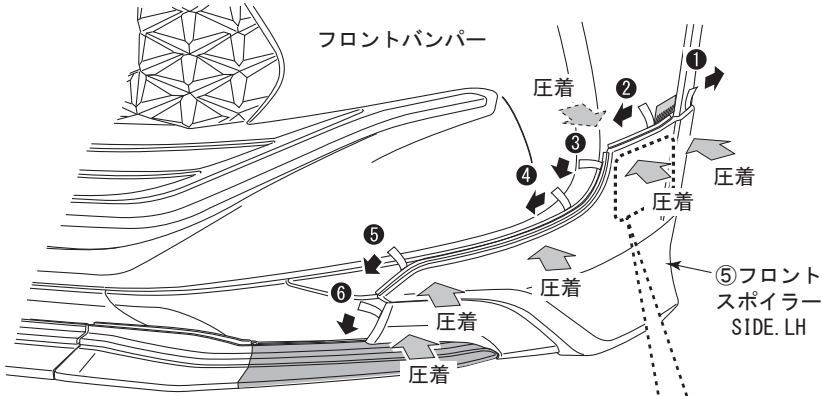
- 車両フェンダーライナーを取り外し、⑤フロントスポイラーSIDE. LHのボルト部を車両バンパー裏側から⑦クリップナットで仮締めする。(左右各1カ所 計2カ所)

アドバイス

- 車両フェンダーライナーの取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。

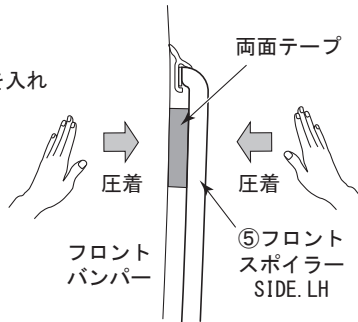
(13) 取り付け

LH図示
※RHも同様



車両バンパー裏側へ手を入れ
挟み込んで圧着する

LH図示
※RHも同様



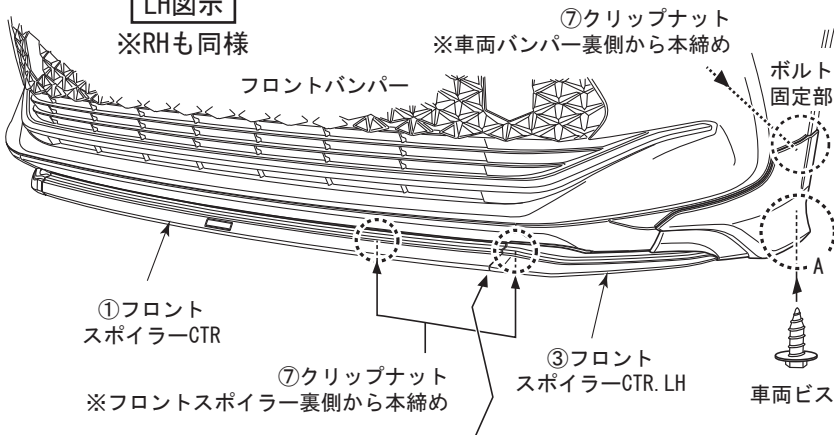
1. 両面テープ離型紙を順番に引き抜きながら圧着する。
再度、取り付け状態を確認しながら両面テープ部を再圧着する。
※離型紙を引き抜く際に取り付け位置が変わらない様に注意して下さい。

アドバイス

- 両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なって下さい。
2. 全てのマスキングテープ、養生テープ及び⑨穴あけ位置決めステッカー(B)LH[モール上端合わせ]を剥がす。

(14) 取り付け

LH図示
※RHも同様



①フロントスポイラー-CTRと③フロントスポイラー-CTR. LHの間に、隙間や段差が生じていないことを確認しながら⑦クリップナットを本締める。

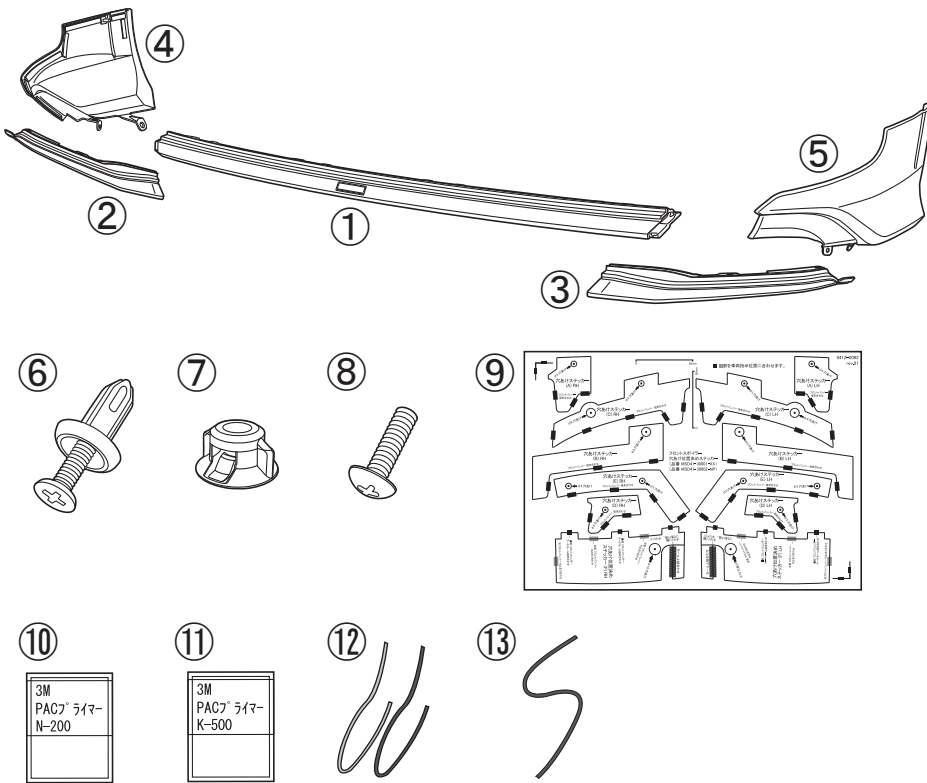
1. 車両及び商品に傷・浮き・剥がれ等が無いことを確認し、3時間以上放置し全ての仮締め部(図参照)を本締めする。
 - 車両ビス(左右各1カ所 計2カ所)
 - クリップナット(左右各3カ所 計6カ所)
2. 車両フェンダーライナーを復元する。

アドバイス

- 車両フェンダーライナーの復元の詳細はトヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。

フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー-CTR	1
②	フロントスポイラー-CTR RH	1
③	フロントスポイラー-CTR LH	1
④	フロントスポイラー-SIDE RH	1
⑤	フロントスポイラー-SIDE LH	1
⑥	スクリベット	10
⑦	クリップナット	6
⑧	トラスクリュー-M6×18	4
⑨	穴あけ位置決めステッカー	1
⑩	PACプライマー-N-200	1
⑪	PACプライマー-K-500	1
⑫	エンドモール	ライトグレー: 1 黒: 1
⑬	モール(L型)	1

⑫エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
090	プレシャスホワイトパール	ライトグレー
1J6	プレシャスシルバー	ライトグレー
1L5	プレシャスメタル	黒
1L6	マッシュグレー	黒
1M1	マットスティール	黒
202	ブラック	黒
3U5	エモーショナルレッドⅡ	黒
4Y6	プレシャスブロンズ	黒
5C4	プレシャスレイ	黒

- ・本商品の下地処理として、製品表面の面だしまで実施しております。
塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗布は、販売店様にて実施して下さい。
- ・乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意して下さい。
強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定して下さい。
- ・両面テープには、絶対に塗装しないで下さい。
接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応して下さい。

(1) 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープ・スクエアボルトを全面マスキングする。
※マスキングの詳細は次ページで説明しています。
3. 図示の要領でマスキングする。
4. **プライマーサフェーサー塗装を行なう。(本品の材質はPPです。)**
5. 上塗り塗装を行なう。
※上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
6. 乾燥させる。
※乾燥温度は、成型樹脂の特性上、必ず70℃以下で乾燥させて下さい。
変形しない様、形状を保持して乾燥して下さい。



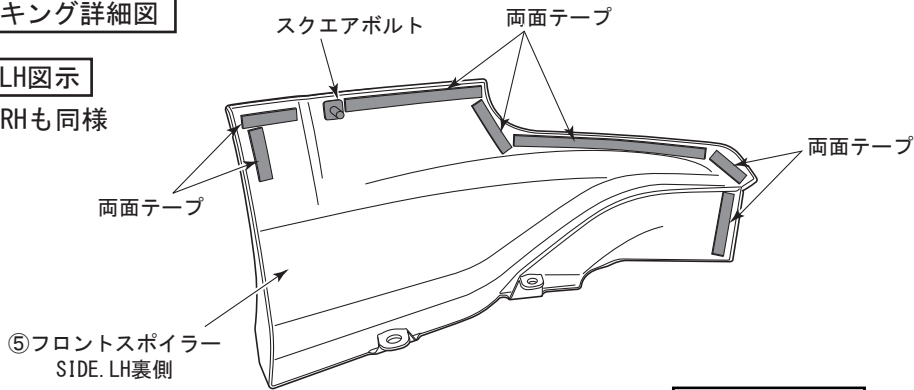
アドバイス

- ・ペーパー等で素材を研磨する場合は、必ずペーパーの番手を#600以上で完了して下さい。

マスキング詳細図

LH図示

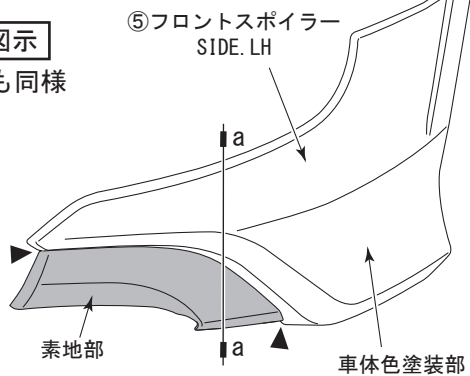
※RHも同様



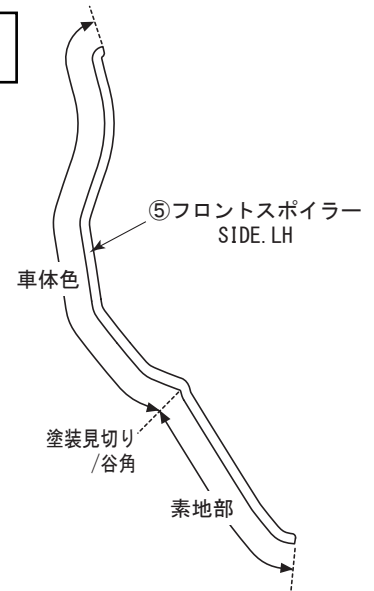
塗装部詳細図

LH図示

※RHも同様



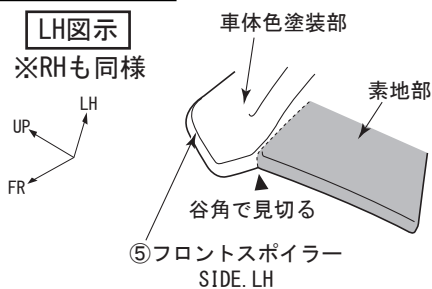
塗装部断面図 Sec. a-a部



塗装部詳細図

LH図示

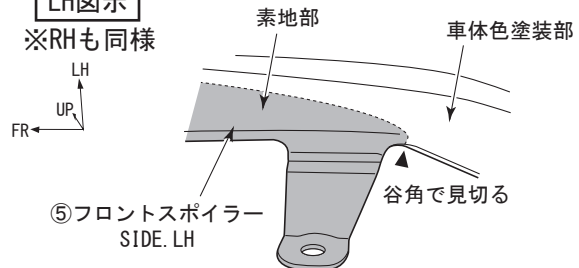
※RHも同様



塗装部詳細図

LH図示

※RHも同様



(2) エンドモール、モール(L型)の貼り付け作業

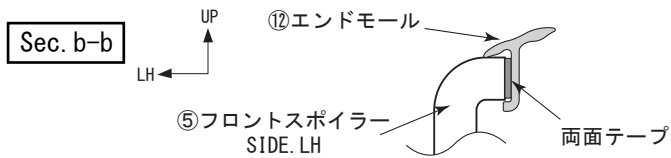
1. 塗装終了後⑫エンドモール、⑬モール(L型)を貼り付ける部分を一方方向に清掃・脱脂し、⑪PACプライマーK-500を塗布する。



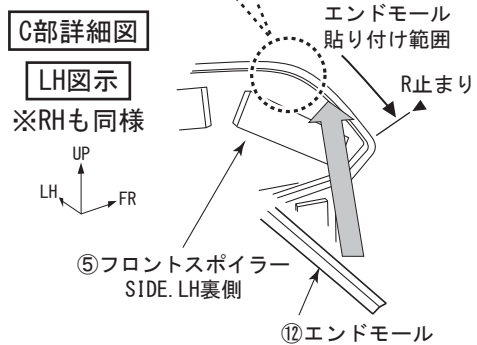
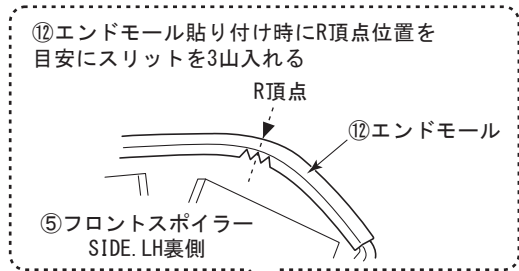
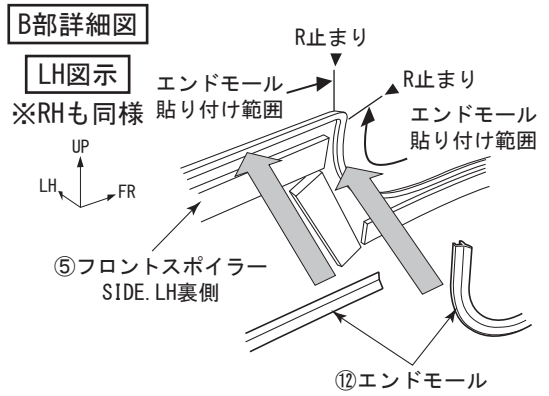
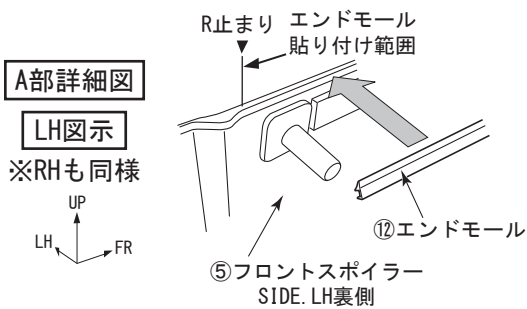
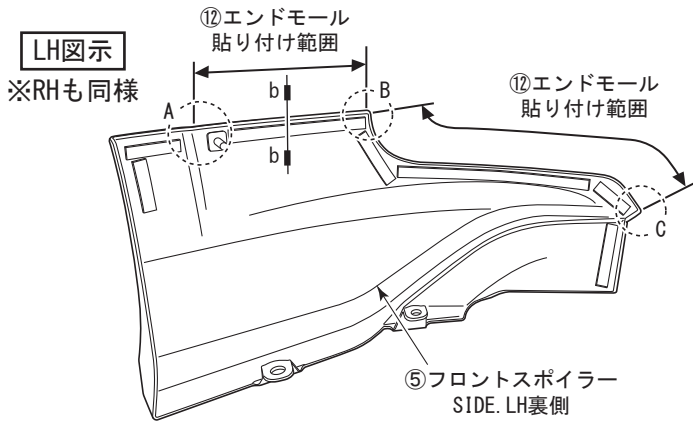
アドバイス

- ・ PACプライマーは①フロンツスポイラー取り付け時に再使用します。
揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・ PACプライマーは特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーはイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取って下さい。
- ・ PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

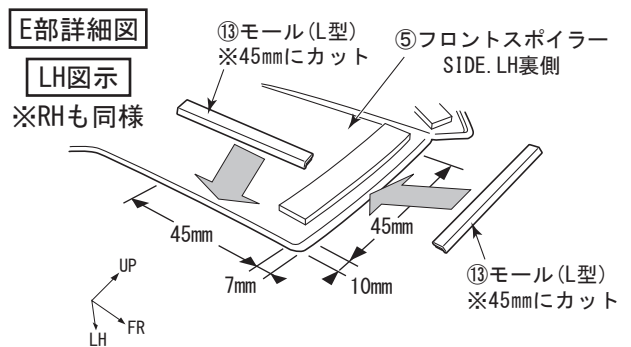
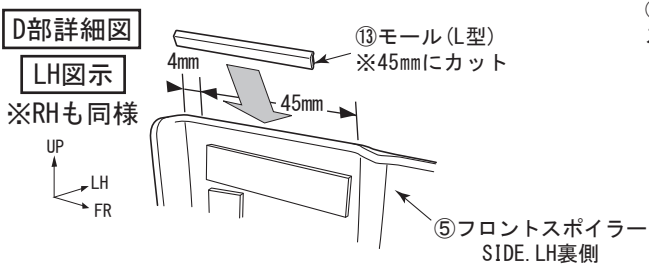
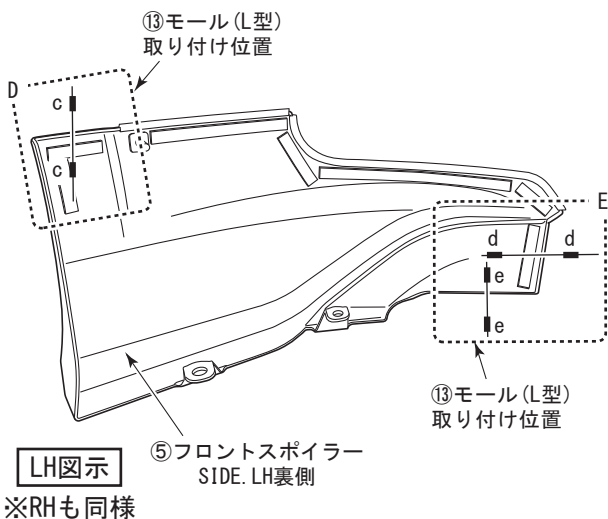
2. 下図の要領で⑫エンドモールを貼り付ける。



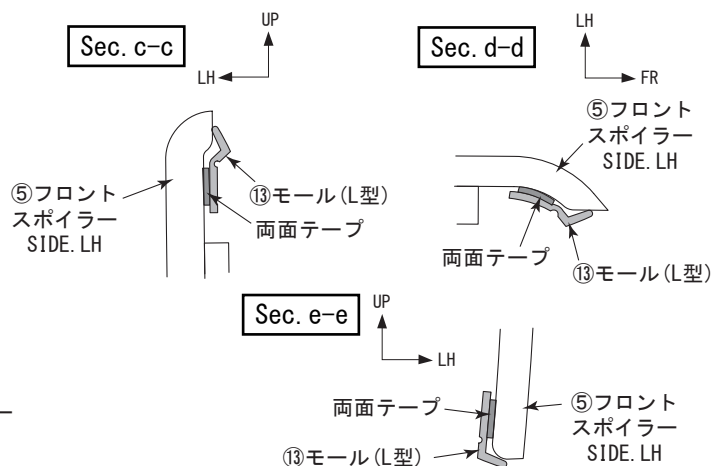
※両面テープ貼り付け面に⑪PACプライマー-K-500を塗布



3. 下図の要領で⑬モール(L型)を貼り付ける。



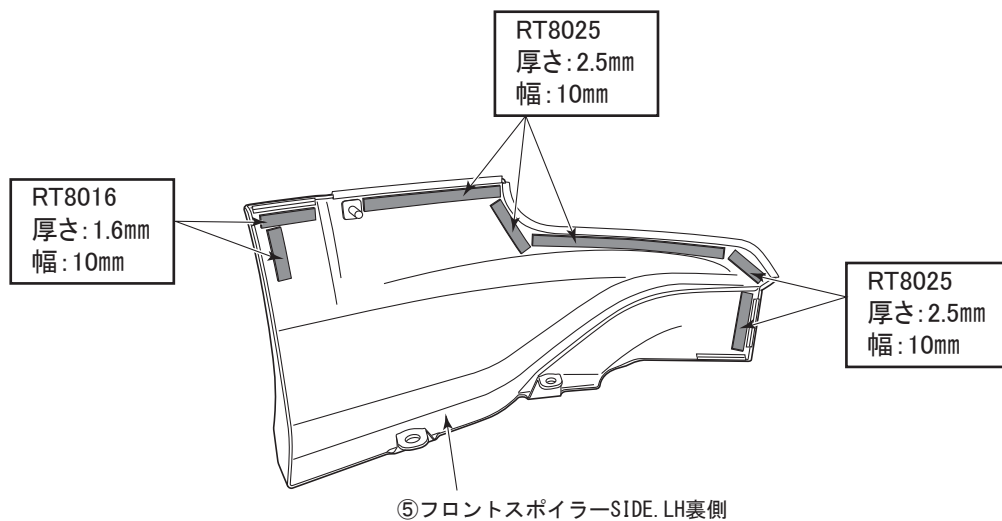
※両面テープ貼り付け面に⑪PACプライマー-K-500を塗布



参考

1. 補修キット(品番:MSD80-30H02)を使用してフロントスポイラーの取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼り付けて下さい。

※両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー(PACプライマーK-500相当)を塗布して下さい。



LH図示

※RHも同様

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

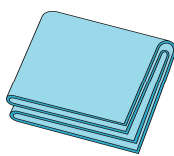


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールの痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

- ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
- 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

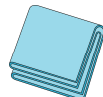
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



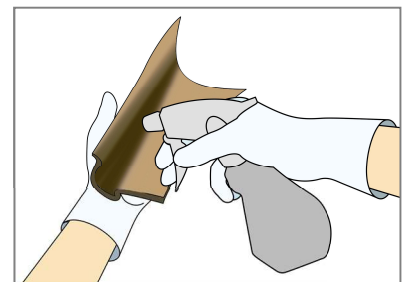
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

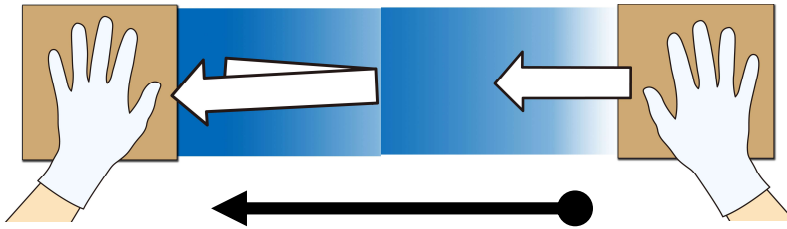
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

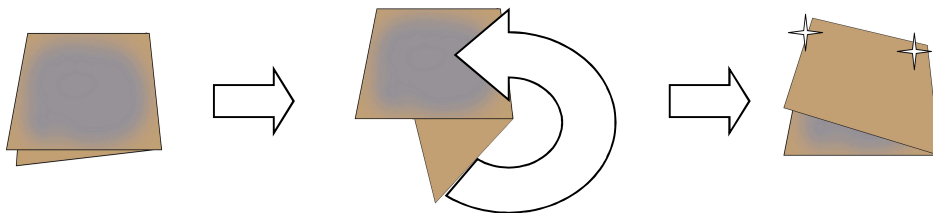
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。